7　芸術（美術）

学校番号	107

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「美術３」　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」など、多種多様な作品を知り、自身の表現を深めていきます。

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1）　対象や事象を捉える造形的な 視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造 的に表すことができるようにする。

2）　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

3）主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、表現の 意図と創造的な工夫、美術の働 きなについて考え、主題を生 成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	自己紹介イラスト	自分を紹介するための フライヤー制作(白黒印刷)	a:自分をアピールするイラストや装飾を描くことができる。 c:他人の目に留まるよう画面構成を工夫できる。	作品		作品
前期	よく「みる」	手の写生 「パステル」で描写	a:一番身近な「自分の手」をしっかり観察し、 黒い画用紙に対し明るい色のパステルで光を描写できる。 b:明度のコントラストを利用し陰影を表現するにはどうすれば良いのか考えられる。 c:画材の持ち味や特性を試しながら工夫できる。	作品	作品 振り返りプリント	制作の様子・ 振り返りプリント
	シルクスクリーン版画	シルクスクリーン版画 オリジナルのカバンやTシャツを制作する	a:スムーズに印刷できるよう魅力的なデザインができる。 b:どのようなデザインなら失敗せずに完成させることができるのか考えられる。 c:オリジナルグッズを作る気持ちで、自分の欲しい、他人が欲しくなるような作品になるよう制作できる。	作品	作品プリント 作品	制作の様子・ 振り返りプリント
	写生	校内写生 「鉛筆」で描写。	a:透視図法・遠近法・鉛筆で表現できる明暗などに留意して空間を描出できる。 b:建物や自然物など質感の違いはどう鉛筆を使えば効果的なのか考えられる。 c:自分たちの慣れ親しんだ学舎への想いを込め、集中して制作できる。	作品	作品 振り返りプリント	制作の様子・ 振り返りプリント

	食品サンプル制作	リアリティのある食品サンプル 石膏粘土(アーチスタフォルモ)を用いてリアリティのある食品サンプルを制作する。	a：モチーフをしっかり観察し、どの部分にこだわることでリアリティが出るのか考えながら形成、着彩できる:。 b:形や色合いにこだわり工夫できる。 c:根気よく一つのモチーフと向き合い作品のクオリティを高められる。	作品	作品 振り返りプリント	制作の様子・ 振り返りプリント
後期	絵本製作	オリジナル絵本の制作	a：３年間選択美術で学んだ自分の得意とする技法を用いて、表現したい世界を１冊の絵本として形にできる。 b：長い制作時間の中でスケジュールを自己管理しながら作品を完成できる。 c: 自分の絵本が最大限魅力的に見える工夫ができる。	作品	作品 振り返りプリント・鑑賞シート	制作の様子・ 振り返りプリント